

J R 総連通信

2010年12月15日

<http://www.jr-souren.com/>

No.1001

全日本鉄道労働組合総連合会

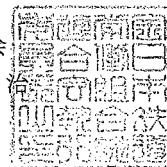
J R 連合からの公開質問状に返答

J R 総連発第 3 号

2010年12月10日

日本鉄道労働組合連合会
会 長 坪 井 義 範 様

全日本鉄道労働組合総連合会
執行委員長 武 井 政 治



『J R連合発第22号』に対する返答

公安警察と飲食を共にする貴労組に対し、「誠意をもって回答」する必要はないものと判断
します。

以 上

J R連合は、12月6日付で、J R総連に対して、「公開質問状」を送付してきた。

その内容は、11月8日の衆議院予算委員会で行われた自民党平沢勝栄議員の質問を引用したように見せかけながら、またぞろの「革マルキャンペーン」を展開しているだけのものである。

内実は、一議員の一見解を、あたかも真実であるかのように装い、さらに検察が起訴しなかった案件、すなわち、無実の内容を取り上げて事件があったかのようにでっち上げ、仰々しい質問状を作成している。

J R総連は、この質問状に対して、「公安警察と飲食を共にする貴労組に対し、『誠意をもって回答』する必要はないものと判断します。」と返答した。